

福知山線の沿革

明治 26年 8月	阪鶴鉄道株式会社設立及び鉄道敷設願
明治 29年 4月	阪鶴線神崎（現尼崎）～福知山間鉄道敷設許可
明治 30年12月	阪鶴鉄道（株）池田～宝塚間開業
明治 30年12月 ～明治 37年11月	順次福知山まで開業
明治 40年 8月	阪鶴鉄道・神崎（現尼崎）～福知山間を国有化
明治 45年 3月	阪鶴線を東海道線の支線とし、福知山線と改称
昭和 9年 5月	尼崎～塚口間複線化開業
昭和 39年 2月	福知山線（三田～福知山間）複線電化促進期成同盟会発足
昭和 43年12月	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会発足
昭和 47年 2月	篠山線（篠山口～福住間）廃止
昭和 52年 9月	塚口～篠山口間複線化工事認可
昭和 53年 4月	尼崎～宝塚間電化工事認可
昭和 53年 4月	福知山線宝塚～福知山間、山陰本線福知山～城崎間電化工事認可
昭和 56年 4月	塚口～宝塚間複線化、尼崎～宝塚間電化開業
昭和 61年11月	宝塚～新三田間複線化・宝塚～城崎間電化開業
昭和 62年 4月	新三田～篠山口間複線化工事の大臣認可をJR西日本が承継
平成 4年 2月	福知山線（新三田～篠山口間）複線化が鉄道整備基金の事業認定
平成 4年11月	福知山線（新三田～篠山口間）複線化起工式